

リアルオプションと戦略

2018 November

Vol. 10 No. 1


 日本リアルオプション学会
The Japan Association of Real Options and Strategy
<http://realopn.jp>

特集 SDGs 持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals

巻頭言

コモディティ・ファイナンス研究部会を設立しました [吉田 靖] ————— 1

公開
研究会
2017-2018

講演要旨

『ユーザー関与イノベーションの新たなアプローチ』 [北原 康富] ————— 2
～素人発想と玄人実行は本当に有効か?～

人生100年時代の新しい働き方と、企業とワーカーの幸せな関係 [小崎 亜依子] — 8

第1回国際SDGsフォーラム兼第2回オープンフォーラム“世界と繋がる” [伊藤 晴祥] 15
大会ルポ

査読
論文

Sustainable Development Goals Implementation in an Evolving Global
Development Finance Landscape [Bate Moses Ayuk] ————— 16

持続可能な開発目標推進企業の株価に連動する世銀債の価値分析
[森平 爽一郎・伊藤 晴祥・小林 弘樹] ————— 29

Analysis of Impacts of SDGs Activities on Firm Value and Utility:
Proposals of SDGs Finance and Indices in Japan [Haruyoshi Ito] ————— 42

学会ニュース

第10巻 第1号

目次

巻頭言

コモディティ・ファイナンス研究部会を設立しました	吉田 靖	1
--------------------------------	------	---

公開研究会 講演要旨

『ユーザー関与イノベーションの新たなアプローチ』	北原 康富	2
～素人発想と玄人実行は本当に有効か?～		

人生100年時代の新しい働き方と、企業とワーカーの幸せな関係	小崎 亜依子	8
--------------------------------------	--------	---

特集「SDGs」

第1回国際SDGsフォーラム兼第2回オープンフォーラム“世界と繋がる”	伊藤 晴祥	15
大会ルポ		

査読論文

Sustainable Development Goals Implementation in an Evolving	Bate Moses Ayuk	16
Global Development Finance Landscape		

持続可能な開発目標推進企業の株価に連動する世銀債の価値分析	森平 爽一郎・伊藤 晴祥・小林 弘樹	29
-------------------------------------	--------------------	----

Analysis of Impacts of SDGs Activities on Firm Value and Utility:	Haruyoshi Ito	42
Proposals of SDGs Finance and Indices in Japan		

〈学会ニュース〉

学会だより	(57)
日本リアルオプション学会法人会員リスト	(57)
編集後記	(57)

巻頭言

コモディティ・ファイナンス研究部会を設立しました

吉田 靖

(東京経済大学 経営学部)

日本リアルオプション学会の研究部会として、コモディティ・ファイナンス研究部会の設立が認められ、筆者が主査を担当している。本欄をお借りして本研究部会の活動の御報告を致したい。

まず、本研究部会の目的は、貴金属、農産物、工業品などの伝統的なコモディティの先物やオプションのみならず、LNG や電力などのエネルギー、海上運賃、仮想通貨、天候、物価といった新しいコモディティ・デリバティブについて、その市場分析、価格分析、リスク管理、マクロ経済との関係など内外の最新の研究動向を踏まえた理解を深めていくことであり、皆様の積極的な御参加をお待ちしている。

これまでの研究部会

第1回は2018年3月19日(月)に開催し、会場にもなっている東京商品取引所の見学会を行った後、筆者の「東京商品取引所先物価格の先行性：原油輸入価格のナウキャスト」と、研究部会幹事でもある森平爽一郎慶應義塾大学名誉教授の「学界展望：商品先物・オプション分析における線形、非線形カルマンフィルターの適用について」の2報告があった。

第2回は5月15日(火)に開催し、東京商品取引所からの「東京商品取引所における電力先物市場開設について」と山田雄二筑波大学教授からの「JEPX を利用する小売電気事業者のデリバティブモデル：予測誤差と損失の統合リスクマネジメント」の2報告があった。

そして、第3回は9月21日(金)の開催で、佐々木真一郎アンカー・シップ・パートナーズ株式会社常務執行役員からの「海運会社(オペレーター)の船舶調達と日本の船舶金融市場」、森平爽一郎慶應義塾大学名誉教授からの「海上運賃：バルチック海運指数」、手塚広一郎日本大学教授・石坂元一福岡大学教授・石井昌宏上智大学教授(登壇者)の「海運市場参加者のリスクに対する態度と海上運賃の変動」の3報告があった。

これら3回は、いずれも盛況で活発な質疑応答・意見交換がなされ、筆者としても非常に有意義であった。これもひとえに報告者、参加者、会場を御提供いただいている東京商品取引所、そして本学会の皆様

の御尽力・御支援の賜物であり、この場をお借りして、感謝の意を表したい。特に電力と海上運賃の報告に接して、その背景の実務的奥深さとそれをモデルに表現して分析する様々な工夫は、株式や債券などの金融商品の研究には見られないものがあり、刺激的で非常に勉強になるものであった。

JAROS2018 と今後の研究部会など

コモディティ・ファイナンスというと、世界最古の先物取引所の堂島米市場が江戸時代に始まり、戦前まで続いたことが思い浮かぶ。本学会の研究発表大会 JAROS2018 では、高槻泰郎神戸大学准教授による「江戸時代の大名による資金調達：堂島米市場を中心に」と題する講演が12月1日に予定されている。JAROS2018 のセミナー全体のテーマは「サステナブル時代に向けた資本主義経済の新展開」となっているが、我々は江戸時代というと、悪徳商人と悪代官が結託して善良な町人をいじめているところに、正義の味方が登場して悪人を懲らしめてスカッとするという勧善懲悪シナリオの時代劇に慣れ親しんでしまっているような気もする。しかし、米の価格をコントロールしようとする幕府と取引所の自由を守ろうとする商人の攻防も実話であろうし、幕府や藩が商人から多額の借金をしていたことが規律づけになっていた可能性もあるのではないだろうか？ 翻って、現在の日本の財政の規律づけはどうなっているのか、などと考えてしまう次第である。

また、JAROS2018 ではコモディティ・ファイナンス・セッションが設けられ3件の報告がなされる予定である。次回の第4回研究部会は2019年1月25日(金)で、電力関連とCTA (Commodity Trading Advisor) 関連の報告を予定している。

研究部会では仮想通貨なども議論していきたいが、本来、中央集権的な統制を嫌って、信頼性を自律分散的な技術面で解決しようとしたこの仕組みが、マネーロンダリングなどの悪用や、交換業者へのハッキングなどの被害発生により、結局は国家権力による規制によって信頼性を確保しようとする皮肉な現象に、複雑な思いを禁じ得ない今日この頃である。

学会だより

機関紙への原稿募集

日本リアルオプション学会の機関誌「リアルオプションと戦略」は、学会員のための情報誌、コミュニケーションの場として、そして、社会へ向けての価値ある情報発信のメディアたることを目指します。掲載記事の種類を多様化して、紹介、解説、書評、研究メモ、論説、所用、研究サーベイ、査読論文のカテゴリーでの投稿を公募致します（2015年度からは、年4回刊行の季刊）。

査読付き論文（short paper）は査読付きであることを機関誌目次と掲載ページの最初に明記します。査読は、実務上の有用性、提供情報の意義と充実度、論文理解容易度など、論文誌とは、別の視点からの査読がなされます。査読は、1か月以内に完了します。査読を希望する論文は、その希望を明示してください。ご投稿は、案内ページ http://www.realopn.jp/prep_page8.htm からお願い致します。記事の分量は、規定のフォーマット10ページ以内を目安にお願い致します。

本誌の各号は会員限定の刊行後、3か月を経過してからインターネット上の電子ジャーナルプラットフォーム「J-STAGE」に登載します。これにより本誌掲載の記事は、Google Scholar などからも検索可能となり、社会に向けて広く情報発信されます。なお、各記事には DOI (Digital Object Identifier) が登録され、国内外から恒久的にアクセスが保証される公開記事となります。

編集後記

第10巻第1号は、発行が遅れて11月になってしまいましたことお詫び申し上げます。本号はSDGs特集号として、SDGsに関する査読論文を3本掲載し充実した内容となっております。今後も、コモディティファイナンスなど様々な特集を組んで発刊して参ります。ご期待ください。

伊藤 晴祥

日本リアルオプション学会法人会員リスト

日本リアルオプション学会は以下の法人の方からのサポートを受けています。

株式会社 シーエスデー
株式会社 アーク情報システム
株式会社 構造計画研究所
同志社大学大学院ビジネス研究科
株式会社 サンセイランディック
日本管理センター 株式会社
株式会社 翻訳センター
ダイドーグループホールディングス 株式会社
株式会社 大和コンピューター
株式会社 メディカルシステムネットワーク
ベステラ 株式会社
日東精工 株式会社

日本リアルオプション学会機関誌 リアルオプションと戦略 第10巻 第1号
2018年11月1日 発行 (機関誌編集委員会) 委員長： 森平爽一郎 委員： 高森寛、中岡英隆、佐藤清和、伊藤晴祥 発行所 日本リアルオプション学会 THE JAPAN ASSOCIATION OF REAL OPTIONS AND STRATEGY 事務業務担当： 〒104-0033 東京都中央区新川2-22-4 新共立ビル2F 電話： 03-3551-9893 FAX: 03-3553-2047

Reviewed Papers, Vol. 10, No. 1

Sustainable Development Goals Implementation in an Evolving Global
Development Finance Landscape

[Bate Moses Ayuk] ————— 16

An Analysis of Notes Linked to the Solactive Sustainable Development
Goals world RC EUR Index issued by the World Bank

[Soichiro Moridaira, Haruyoshi Ito, Hiroki Kobayashi] ————— 29

Analysis of Impacts of SDGs Activities on Firm Value and Utility:
Proposals of SDGs Finance and Indices in Japan

[Haruyoshi Ito] ————— 42